

第14回「地方発！ベンチャー企業ミートアップ」登壇企業紹介

1. TEAD株式会社（法人番号 9070001032110）

代表者	横山 勉
所在地	群馬県高崎市江木町1637-5
設立	2016年4月
事業概要	ドローンの企画・設計・開発・製造・販売
企業URL	http://www.tead.co.jp/
プレゼンテーマ	世界初！日本発！長時間飛行ハイブリッドドローン
プレゼン概要	弊社は日本では数少ない産業用ドローンの総合メーカーであり、今年から（一社）農林水産航空協会の認定を取ったうえで、農薬散布用のドローンを販売開始しました。ただ、今のドローンは10～15分程度しか飛行できないもので、爆発的な普及まではほど遠いのが現状です。そんな中で、弊社ではガソリンエンジンで発電し、その電力をもって飛行するハイブリッドドローンの開発を行っています。これはペイロードを維持したまま、1～2時間の飛行を可能とするものであり、もっと大型化・長時間・大きなペイロードももちろん可能です。世界でもまだ無いこのドローンをもって、長時間飛行が可能なドローンの可能性をご紹介します。
PR事項	(株)ヨコヤマ・コーポレーションのドローン事業部が独立して設立された企業。TEADは農業分野では（一社）農林水産航空協会の認定済でいち早く産業用ドローンの量産に取り組んでいます。大手農機販売企業や農薬販売企業が販売企業となり、全国で事業展開中。今年の7月からの販売開始にも関わらず、3億円市場となります。産業分野ではNEDOの補助事業でハイブリッドドローンを開発中。極低振動のガソリンエンジンで発電し、その電力で飛行します。飛行可能時間は1～2時間、ペイロードは18kg、発売開始は来年末を想定しています。実現すれば世界初。
期待事項	資金調達、海外販路拡大、業務提携（クラウド・ビッグデータ・AI・物流システム等）

2. 株式会社YRP-IOT（法人番号 9021001046195）

代表者	半田 祐一
所在地	神奈川県横須賀市光の丘3番2号1
設立	2011年8月
事業概要	国際無線通信規格Wi-SUN（ワイサン）を用いたM2M/IoT向けシステム・製品の受託開発・製造販売
企業URL	http://yrp-iot.com/iot/
プレゼンテーマ	Wi-SUNを用いたシステム・製品の、相互接続性の検証・認証サービスと組込ソフトライセンスサービス
プレゼン概要	弊社が扱う国際無線通信規格Wi-SUNは、M2M/IoT向けセンサーネットワークに用いる短距離無線通信技術として、その性能面での有効性、比較優位性は認知されつつあるものの、製品やシステム価格が高く、汎用性が乏しい事が普及の妨げとなっておりました。当社は、これまでに自社開発したWi-SUN製品（アプリケーション、ゲートウェイ、汎用センサーI/Fボード）や、現在開発中の相互接続性を検証・認証する為の試験サービス、組込ソフトライセンスサービスを通じて、Wi-SUNビジネスへ参入する他企業のシステム・製品の接続性を開発する事業展開により、今後拡大化が期待されるWi-SUN市場の獲得を目指しております。

PR事項	Wi-SUNは、低消費電力、接続距離500m、マルチホップ機能(バケツリレー)、メッシュ接続(遮蔽物を避ける)、ロバスト性(外部干渉が少ない)といった性能を持つ、(国研)情報通信研究機構(NICT)により開発された、センサーネットワークに最適な無線通信技術となります。弊社は、NICTによる複数のWi-SUN実証実験に於けるシステム開発を受託し、当該複数のWi-SUNに係る技術移転を受けております。また、自社製品として、Wi-SUNアプリケーション、ゲートウェイ、汎用センサーI/Fボードの商用化開発に成功し、既に、大手移動体通信事業者やメーカー等より、当社製品導入に向けたご相談を頂いております。
期待事項	資金調達、資本・業務提携、販路拡大

3. 株式会社藤枝MYFC (法人番号 1080001017365)

代表者	小山 淳
所在地	静岡県藤枝市高柳3-26-33
設立	2009年7月
事業概要	プロスポーツ事業はJ3、女子、関西1部のサッカークラブの保有・運営、 スポーツスクール(サッカー、野球、チアダンス)事業は9000名の会員
企業URL	http://myfc.co.jp/
プレゼンテーマ	スポーツスクールのトップ戦略スポーツビジネスへの挑戦
プレゼン概要	プロスポーツ事業としては日本初、創業会社が0からJクラブをつくり、プロスポーツクラブの全国展開をしていきます。 キッズスポーツスクール事業は現在11都県、ベトナムにて9000人以上の会員に通って頂いており、J1含めたJ53クラブの中ではキッズ生はN01、キッズスポーツスクール業界における成長率はN01です。現在進めているプロスポーツクラブビジネスとキッズスポーツスクールビジネスの規模を早期にそれぞれ日本一にし、その過程で培ってきたノウハウを全国、世界の津々浦々に広めていきます。
PR事項	現在進めているプロスポーツクラブビジネスとキッズスポーツスクールビジネスの規模を早期にそれぞれ日本一にし、その過程で培ってきたノウハウを全国、世界の津々浦々に広めていきます。 当社グループの強みは以下のとおりです。 (1) コア2事業(クラブ・スクール)に業界トップ人材 クラブ事業を弊社創業者小山淳(日本サッカー史上初の創業Jクラブをつくる)が担当し、スクール事業を現在日本一のスクール企業リーフラス社の創業メンバーでありCOOであった橋野裕之が担当。 (2) 数多くの有力企業が参画(391の株主・130のパートナー) 創業7年ながら約500社の企業が参画中。行政では静岡県島田市が、大学では早稲田大学が弊社の株主。
期待事項	資金調達、販路拡大、業務提携

4. 株式会社イノバステラ (法人番号 9010401118159)

代表者	栗山 和巳
所在地	山梨県甲府市大里町465 パイオニア・マイクロ・テクノロジー内
設立	2015年5月
事業概要	電子機器、電子部品、半導体製品等に関する技術の研究開発、試作、製造および販売、それらに関する

	る技術ライセンス、技術供与及び技術支援
プレゼンテーマ	熱アシスト磁気記録型ハードディスク用ナノヒーターの製造販売事業
プレゼン概要	<p>情報爆発への対応から、データセンター用途であるエンタープライズ向けハードディスクドライブ（以下 HDD）として、より大容量のものが求められており、次世代 HDD として熱アシスト磁気記録方式（以下 HAMR）の実用化が進められているものの熱的信頼性の目途が立っておらず、いまだ実用化には至っていません。我々は自社所有の基本特許をベースに新しい動作原理に基づいた量子ドット技術を用いたナノヒーターを実用化しこの課題を解決します。熱源の付加価値として上乗せできるのは 0.5 米ドル（HDD メーカー担当者よりの情報）とされ、2025 年には年間 50 億個強の磁気ヘッドが作られることから市場規模は 2500 億円を超え自社利益はライセンス収入を含め 400 億円を超えるものと計画しています。</p>
PR 事項	<p>ナノヒーターに用いられている量子ドット技術は、2006 年～2010 年にかけて行われた NEDO 低損失オプティカル新機能部材技術開発で培った技術をもとに 2011 年～2014 年にかけてパイオニア(株)にて開発されましたが、2014 年 10 月にパイオニアではカーエレクトロニクス事業にすべてのリソースを集中するため、本技術の研究開発を中止、事業化を断念しました。本技術が次世代 HDD 成功の鍵となる技術であることから、(株)イノバステラを設立、量子ドットデバイスの実用化・製品化と研究開発を行うことを決意しました。Mt. Fuji イノベーションキャンプ 2015 に、チームクリヤマ「ハードディスク用の電子デバイスの製造販売事業」で応募し、最優秀賞と同時にオーディエンス賞を獲得。</p>
期待事項	資金調達